

2023.5.15  
No.182

# たなぐら 議会だより



2  
ページ

令和5年度  
当初予算を可決

7  
ページ

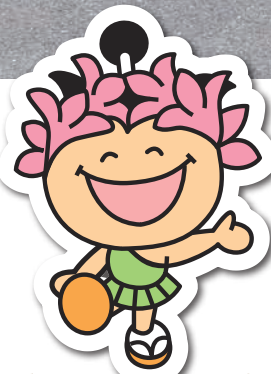
町政を問う  
一般質問

17  
ページ

全国町村議会  
議長会表彰

18  
ページ

議会モニター



もくじ

表紙写真  
「桐倉中学校 入学式」



# 子ども子育て支援等の充実 令和5年度当初予算を可決

定例会  
3月会議

定例会3月会議は、3月7日から15日までの9日間の会議日程で開催されました。令和5年度当初予算や令和4年度予算の補正、条例の制定や改正、追加議案の人事案件などについて審議し、すべて原案のとおり可決・同意されました。  
一般質問8名の議員が登壇し、町政をたどりました。



## 文化センター大規模改修事業



令和5年度は、学習棟(正面右側)の雨漏りや内装等の改修工事を行います。

## 一般会計

令和5年度に行う  
主な事業です。

## 棚倉運動広場改修工事



ナイター設備の拡充及びグラウンドの改修工事を行います。

## 高校生等生活応援給付金



高校生への就学支援として、一人当たり年額6万円を給付します。

## 妊産婦医療費助成事業



妊産婦に係る医療費自己負担分の助成を実施します。

## 主な事業

- 幼稚園送迎バス・スクールバス運行事業
- 出産・子育て応援事業 ● 防災対策事業
- 地域交通対策事業 ● DX推進事業 ● ふくしま森林再生事業
- 道路メンテナンス補助事業 ● 街なみ環境整備事業 など

## 令和5年度各会計の予算額

(△は減額表示/1万円未満切捨て)

会計名	5年度予算	4年度予算	比較			
			増減費	伸び率		
一般会計	69億8,300万円	66億6,800万円	3億1,500万円	4.7%		
特別会計	国民健康保険	12億5,045万円	13億5,779万円	△1億734万円	△7.9%	
	後期高齢者医療	1億5,638万円	1億5,125万円	513万円	3.3%	
	介護保険	15億1,432万円	15億1,512万円	△80万円	△0.1%	
	簡易水道事業	4,924万円	5,435万円	△511万円	△9.4%	
	公共下水道事業	3億751万円	3億486万円	265万円	0.8%	
	農業集落排水事業	8,407万円	1億9,468万円	△1億1,061万円	△56.8%	
	霊園整備事業	177万円	64万円	113万円	176.5%	
上水道事業会計	収益的収支	収入	3億7,046万円	3億8,021万円	△975万円	△2.5%
		支出	3億3,906万円	3億3,652万円	254万円	0.7%
	資本的収支	収入	1億6,288万円	1億5,924万円	364万円	2.2%
		支出	2億9,567万円	2億9,990万円	△423万円	△1.4%

## 当初予算審議

令和5年度各会計当初予算の審議は、予算特別委員会が設置され2日間にわたり慎重に審議されました。

提出された議案をすべて原案のとおり可決すべきものと決定され、最終日の本会議において、審査結果を委員長が報告されました。



## 討論の末に可決

令和5年度棚倉町一般会計予算の原案をめぐる討論が行われ、採決の結果、賛成多数で可決しました。

反対1名  
賛成12名

### 反対

鈴木 政夫 議員

令和5年度棚倉町一般会計予算案は、歳入歳出69億8千3百万円で、前年比3億1千5百万円の増となっている。

今、世界的に食料、エネルギーなど物価が急速に高騰し、われわれ町民も物価高騰に苦しんでいる。そうした中で令和5年度一般会計予算案、これで本町の町民の生活を守るのか。まず、学校給食の無料化については、各自自治体において大きな流れになっている。子育て支援の中で、少子化にどう歯止めをかけていくのか。埴町ではすでに実施しており、浅川町でも令和5年度から実施することが決定されている。なぜ、我が町は実施できないのか。優先順位、財政問題、学校給食法第11条など、やれない理由は当局から述べられてきたが、忘れてならないのは、この学校給食費の無料化というのは、子育てに取り組み町民に対する施策である。

また、働く場所の問題。この町に育った若者が働く場所がなければ、町に定住することができない。なぜ町は、働く場所の確保を取り組もうとしないのか。

また、旧棚高跡地について、いつになったら決まるのか。町は、どう活用するのか方針を決めて、県と交渉するべきではないか。県のほうでは地元の要望が弱いとの声があるようだが、町はどうするのか。町長自ら知事に会って強く要望すべきだと思う。

このほかにもルネサンス棚倉、予算案では1億円の支出となっているが、町民の利用問題は改善されていない。

タクシー利用助成券を始めたことは大いに評価できるが、内容の改善が出されていない。

指摘すべき点は多数あるが、以上をもって反対討論とする。

### 賛成

大竹 盛栄 議員

令和5年度棚倉町一般会計予算案について、歳入面では、町税、各種交付金、地方交付税などの適切な計上、また、国県支出金や町債など有利な財源の活用、さらには、実績を踏まえたふるさと納税寄附金の計上など、積極的な財源の確保に努めているものと同える。一方、歳出面では、子育て・教育・文化環境の充実を図るため、新規事業として、高校生等生活応援給付金事業、出産・子育て応援事業、妊産婦医療費助成事業などが計上されている。

また、大規模改修事業として、文化センターと総合運動広場の改修工事などが計上されている。

福祉・保健分野では、自立支援給付障害福祉サービス事業、介護保険サービス事業、母子保健事業、予防接種事業など。

農林・商工分野では、農業担い手支援事業、米の需給調整事業、福島森林再生事業、商工業者などの起業・創業支援事業、商工団体助成事業、山本公園整備事業、わくわくイベント事業など。

土木・消防分野では、町道の改良、橋梁補修事業、街なみ環境整備事業、消防設備の更新・整備事業、防災対策関連のトイレトレーラー導入事業などが、そのほか、DX関連事業や第7次棚倉町振興計画策定事業なども計上され、町民の暮らし、安心・安全などの維持向上のために必要な事業がバランスよく確保された内容となっている。

したがって、厳しい財政状況にあっても社会の変化に対応しながら、町民福祉向上のため、第6次振興計画に掲げる政策目標の実現を目指しているこの予算案を適切なものと考え、賛成討論とする。

## 条例の制定・一部改正等

### ◇棚倉町犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等基本法に基づいて、犯罪被害者等の権利、利益の保護を図ることを目的として制定。

### ◇棚倉町個人情報保護に関する法律施行条例

個人情報保護の保護に関する法律が改正され、これまでは個人情報を取り扱う主体ごとに分かれていた法律が一本化されたことに伴い、地方公共団体においても改正個人情報保護法の全国的な共通ルールが適用されることになるため、法律に基づいた制度運用に必要な事項を条例で定めるもの。

### ◇棚倉町広告式条例の一部を改正する条例

町内4カ所にある掲示場を役場前の掲示場1カ所とするための改正。

### ◇行政区長に町役場事務の一部を委任する条例の一部を改正する条例

町から行政区長に委任できる事務について、現状にあった内容に改正。

### ◇地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

地方公務員法の改正に伴い、職員の定年を60歳から65歳に引き上げるため、棚倉町職員の定年等に関する条例を改正するほか、定年を引上げることに伴い、職員の給与に関する条例など、関係する10件の条例改正と、棚倉町職員の再任用に関する条例の廃止を整備条例として一括して所要の改正。

### ◇山本キャンプ場設置条例の一部を改正する条例

4年度に整備したバンガロー棟及びテントサイトの数量や使用料の改正。

### ◇棚倉町国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の額を改正。

### ◇棚倉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

保育所などの手続き等について、電子申請等による対応も可能とする包括的な規定を追加。

### ◇棚倉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令などに準じて所要の改正。

### ◇棚倉町文化財保護条例の一部を改正する条例

文化財保護法の一部改正に伴う所要の改正。

### ◇棚倉町議会議員及び棚倉町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令が改正され、1日当たりの選挙運動用自動車の借上料、及び燃料費の公費負担

担額の上限額が改正されたことに伴う所要の改正。

### ◇戸中大岩平辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

### ◇瀬ヶ野辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

### ◇山岡辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

昨今の厳しい社会情勢や資材・原材料等の高騰を踏まえ、事業費や事業内容を精査した結果、事業費等に変動が生じたので「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき計画を変更。

令和4年度3月補正後の予算額

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計	1億3,021万円	77億2,143万円	
特別会計	国民健康保険	△1億3,755万円	12億1,914万円
	後期高齢者医療	426万円	1億5,552万円
	介護保険	△3,872万円	15億3,060万円
	簡易水道事業	△121万円	5,344万円
	公共下水道事業	△208万円	3億740万円
	農業集落排水事業	△23万円	1億9,496万円
	霊園整備事業	88万円	152万円

(△は減額表示 / 1万円未満切捨て)

# 町政を問う

定例会3月会議では8人の議員が登壇し質問を行いました。  
1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。  
行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。



## 1 大竹 盛栄 議員 …… 8ページ

1. タクシー利用料金助成事業見直しは
2. 歩道の点字ブロック上のごみ集積は問題ないか
3. 不登校特例校開校を本当に目指すのか

## 2 割栢 義夫 議員 …… 9ページ

1. 町内に統合小学校設置の考えは
2. 带状疱疹ワクチンの推進取り組みは
3. 日本脳炎ワクチン接種特例対象者への取り組みは

## 3 藤田 光子 議員 …… 10ページ

1. 旧棚高跡地無償譲渡非該当の情報は
2. 出産・子育て応援事業は
3. 棚倉駅舎などの活用は

## 4 菊池 忠二 議員 …… 11ページ

1. 町長とトークの日の今後は
2. 町観光協会各支部の補助金要望の把握は
3. 町道、農道交差点の停止線や標識の設置は

## 5 佐藤 喜一 議員 …… 12ページ

1. 統合小学校について
2. 祖父岡地区の町道整備計画は
3. 埋設された送電ケーブルの管理は

## 6 近藤 正光 議員 …… 13ページ

1. 小・中学校入学祝い金の補助を問う
2. 都市公園の整備は
3. 野球場の建設は

## 7 古市 泰久 議員 …… 14ページ

1. 棚倉城跡整備基本計画策定のメリットは
2. 老朽水道管、石綿管の更新事業計画は
3. ヤングケアラーの県の実態調査の結果は

## 8 藤田 智之 議員 …… 15ページ

1. 県との交渉が進展しない原因は
2. LGBTQへの支援は
3. 保健協力員の見直しは
4. 物価高騰の中で給食費は



厚生文教常任委員会



総務常任委員会

令和5年度の条例制定及び改正の議案については、総務常任委員会と、厚生文教常任委員会に付託され審査を行いました。

## 常任委員会審査

## 発議

◎棚倉町議会の個人情報の保護に関する条例

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、全国的な共通ルールの下、個人情報保護法の的確な運用が図られることになり、地方公共団体の執行機関に直接適用される個人情報保護法の規定が、地方議会は原則として適用対象外となるため、議会における個人情報の取扱いについて、議会独自の個人情報保護条例を制定する必要が、あることから条例を制定。

## 陳情

◎要望書 令和5年度棚倉町商工会助成事業費(地域貢献事業)補助金の交付について

提出者 棚倉町商工会 会長 立石 誠

◎要望書 「令和5年度たなぐらS akuramarushie及び棚倉夏まつり事業補助金の交付について」

提出者 棚倉町商工会 会長 立石 誠

◎要望書 原油・原材料等の高騰、物価高騰等における中小・小規模事業者支援に関する緊急要望書

提出者 棚倉町商工会 会長 立石 誠

◎陳情書 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情

提出者 コドシラ 代表 与那城 千恵美

◎陳情書 子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書

提出者 福島県保育連絡会 代表 大宮 勇雄

◎陳情書 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情

提出者 日本労働組合総連合会福島県連合会東白川地区連合会 議長 鈴木 隆

## 人事案件

全会一致で同意しました。

棚倉町副町長の選任について



鈴木 敏光 さん (流)

人権擁護委員候補者の推薦について



西牧 武美 さん (中居野)



### 問 タクシー利用料金助成事業見直しは適宜見直しを行っている状況

**問** タクシー利用料金助成事業の登録者数の推移は。

**町長** 令和2年度で903名、3年度で924名、4年度は2月末現在で968名。

**問** 申請に対する基準とその見直しは。

**町長** 町内に住所を有し、町税等の滞納が無く、65歳以上の自動車等運転免許を有していない方、重度心身障害者、要介護4もしくは5の介護認定者であり、見直しについては適宜行っている。

**問** 自動車等運転免許とは具体的に何をさすのか。

**産業振興課長** 原付バイク、大型特殊免許までのあらゆる運転免許をさす。

**問** 農業用の小型特殊免許だけしか持たない方は交通弱者といえないか。また、制度変更の考えは。

**町長** 昔は、耕運機で買い物に

来る人がいたが今は見なくなったので、交通弱者として今後検討していきたい。

**問** 歩道の点字ブロック上のごみ集積は問題ないか  
**答** ごみを置かないよう周知していく

**問** ごみ集積所の管理や場所について町の関与は。

**町長** 新設、移転の許可等を行っており、場所の選定や管理は、行政区や利用者が行っている。

**問** 歩道の点字ブロック上のごみ集積は問題ないか。

**町長** 集積所の確保が困難なため点字ブロック上に置かれている箇所もある。出来るだけ置かないよう周知していく。

**問** 新たに集積所を設置したいときの手順は。

**町長** 町への申請があれば、東



点字ブロック上に集積されたごみ

白衛生組合が現地を確認し、周辺の集積所や、道路状況などを判断し町から申請者へ許可をする。

**問** 不登校特別校開校を本当に目指すのか  
**答** 将来的な課題として、必要な施策であれば検討をする

**問** 新聞報道の本意は。

**町長** 不登校で学校に行けない子どもたちの居場所を考える意味

では、そういう選択肢もあるという話をした。

**問** 不登校特別校開校は、町単独では難しいと思うが、それとは別に東白川4町村の教育長さん方で、何か動きがあると聞いたが。

**教育長** 県教育委員会教育長に対し、特別支援学校分校の東白川地区への設置、修明高校における特別支援教育の人員配置、棚倉中学校に通級指導教室の設置の要望をするということで話が進んでいる。



通級指導教室設置が待たれる棚倉中学校



わきやまよしあき 割栢 義夫

**問** 町内に一つの統合小学校設置の考えは。

**教育長** 学びのあり方検討委員会の意見を踏まえ、学校の適正規模・適正配置について、検討会議等を立上げ学校統合の適否について考えていく。

**問** 今後の高野小学校運営は。

**教育長** 在校生がいる間、小規模で学びたい児童が1人でもいれば入学を認め、県教育委員会から職員が配属され引き続き継続する。

**問** 小規模校のメリット、デメリットは。

**教育長** メリットは、個に応じた指導ができる。デメリットは、集団行動や対話が出来ないため、近隣の学校と交流活動を行い、1人でも支障がない工夫が必要である。

### 問 町内に統合小学校設置の考えは 答 児童数の推移を把握し考えていく

え、廃校までを視野に入れているのか。

**子ども教育課長** 児童数がゼロの場合は、廃校ではなく休校と考

**問** 休校した場合、校舎の地域開放、コミュニティ、スポーツ、文化行事などの開催支援は。

**子ども教育課長** 規則に基づき、体育館等は貸し出しできる。休校または廃校時の利活用は、各課と調整しながら検討していく。



児童が減少している高野小学校

**問** 誰一人取り残すことのない教育、多様化が望まれているが、

学校運営の進め方は。  
**教育長** 全てのお子さんに将来、職業的、社会的、自立できる力を個に応じてつくるよう全力を尽くしていく。

**問** 带状疱疹ワクチンの推進取り組みは  
**答** 任意接種のため内容に応じ助言を実施

**問** 带状疱疹ワクチンの効果は。

**町長** 接種することで免疫力を高め、発症しても軽症で済み、発症後、神経痛などの後遺症の予防につながる効果があると認識している。

**問** ワクチン接種の一部助成や定期接種化は。

**町長** 国が安全性や有効性、費用対効果など、定期接種化に向けた審議を行っている段階であり、助成の考えはない。

**問** 日本脳炎ワクチン接種特別対象者への取り組みは  
**答** 個別に案内し接種勧奨を行っている

**問** 日本脳炎ワクチン接種の現状は。

**町長** 定期予防接種であり、生後6カ月から7歳6カ月までの児童、第一期初回接種を3回、第二期として、9歳以上13歳未満の時期に1回の接種を行っている。



おのだけもり 大竹 盛栄

### 問 旧棚高跡地無償譲渡非該当の情報は 答 県からの情報提供はなかった

**問** 新聞報道で、県では統廃合の空き校舎や土地について所在市町村が利活用を希望する場合は無償譲渡とする方針を固めたが、旧棚高跡地は該当していなかった。県と話し合いの中で情報はなかったのか。

**町長** 無償譲渡や補助制度の新設等の情報提供はなかった。

**問** 空き地利用について検討委員会を立ち上げて、町として協議すべきと思うが。

**町長** 県教育庁から説明をした旨の連絡があったので、その内容を受けて県が直接利活用しないのであれば、今般発表になった対象校へ編入の働きかけや必要があれば検討委員会の設置を検討していく。

**問** もう既に体制を整えておくべきではないか。

**地域創生課長** 県教育庁と日程調整をし、なるべく早く説明に来

ていただけるようにしたい。

**問** 県からの話を聞いてから考えるのか。

**地域創生課長** 譲渡する考えがあるのか、無償で譲渡してもいいのか、有償なのか、そこを確認しなければ進めない。

**問** 町として獲得ありきで望んでいくのか。

**地域創生課長** 県が直接利活用しないのであれば、無償譲渡や補助制度の対象となるよう働きかけしていく。

### 問 出産・子育て応援事業は 答 現金での給付

**問** 令和4年4月以降に妊娠または出産した対象者数は。

**町長** 3月1日現在において、出産された方61名、妊娠中の方44名。

### 問 棚倉駅舎などの活用は 答 三者で事業に取り組んでいる

**問** 子育てに対して充実した町となるよう、今後もあり続ける町の姿勢は。

**町長** 新たに高校生の支援の追加を行う予定で、町にとって子どもが増えるということが一番大切と思っている。

**問** 閑散とした駅舎や周辺を活性化しては。

**町長** 町、修明高校の生徒及び水郡線活性化プロジェクトチームの三者により、駅の利用に関する意見交換をしながら、棚倉駅の清掃及び花のプランターの設置などの連携した事業に取り組んでいる。

**問** 駅舎内に喫茶店などを設けて、町中のコミュニティ化を図っては。

### 問 町長とトークの日は今後は 答 検証、改善しながら継続していく

**問** 過去3年間のトークの日の申し込み件数は。

**町長** 令和元年度13件、2年度15件、3年度14件。

**問** 主な申込者及びその内容は。

**町長** 行政区などの団体が主で、内容は町への要望が74%

**問** 回答の方法と実現率は。

**町長** その場で回答出来るものはその場で、各課に引継ぐものや県などの確認が必要なものは必要に応じて回答。実現の度合いは約55%で、実現または一部実現している。

**問** トークの日の進め方について見直しは。

**町長** 町民の方々と気軽に對話ができる機会であるので、検証し改善しながら継続していく。

**問** 町民が町長と会話ができる機会の敷居をさらに下げる努力が必要では。

**地域創生課長** 親しみやすい工夫を考えていく。



### 問 町観光協会各支部の補助金要望の把握は 答 年間を通して相談、要望を受けている

**問** 各支部の数と支部への補助金の算定基準と金額は。また、使用道の制約は。



観光資源を見守っている観光協会支部

**地域創生課長** 各支部の事業内容に基づき、補助金交付申請をしている。制約は特にない。

**問** 観光協会支部も次の世代につなげるため、将来、有償ボランティアの考えも必要ではないか。

**地域創生課長** 有償ボランティアなども含め、検討していく時期にきていると思われる。

**産業振興課長** 高校生との話し合いの中で、サロンのな場所としての活用という案もでている。

**問** 町の案内所として観光協会の設置や警察署とも連携し、ポリステーションの設置等の考えは。

**町長** どういった展開ができるか検討を進めている段階である。



無人化となった棚倉駅

### 問 町道、農道交差点の停止線や標識の設置は 答 現状を確認し県公安委員会に要望する

**問** 危険度の高い交差点などの標識や道路の標示の要望の対応は。

**整備課長** 危険な場所については、県公安委員会に強く要望している。



菊池 忠二



止まれの標識がない交差点



藤田 光子

### 問 統合小学校について 答 統合を話し合う委員会を検討

**問** 学びのあり方検討委員会の意見書にも記載されている統合小学校について、現在、どのように進んでいるのか。

**教育長** 棚倉町小・中学校学びのあり方検討委員会意見書の趣旨を踏まえて、義務教育を含めた統合小学校について教育委員会内で検討し、その後、総合教育会議や、学校運営協議会等で協議するなど、統合を話し合う委員会の設置を含めて検討を始めていきたいと考えている。

**問** 予算を執行するのは町長なので、町長は統合小学校についてどのように考えているのか。

**町長** 統合小学校の是非ということも含めて、教育委員会の中でさらには統合協議会が設置された際にはその中で今後検討が進んでいくものだろうと認識している。

**問** 旧棚倉高校跡地について、統合小学校用地の一部として申請

することは考えているのか。  
**子ども教育課長** 現在は検討していないが、検討委員会が設置され、そういった場所というような決定が出された場合については、候補地の1つとして考えていきたい。

### 問 祖父岡地区の町道整備計画は

**答** 現在、整備計画はない

**問** 町道祖父岡松原線の祖父岡橋から岩ヶ沢橋間の道路は、地域住民の生活道路であり未舗装であるため整備が求められているが、今後、整備計画はあるのか。

**町長** 整備計画はないが、行政区からの要請により不陸整正や敷砂利等により対応し、交通に支障がないよう安全管理に努めている。



町道祖父岡松原線

**問** 地元からの要望に対し、今後の検討事項は。

**整備課長** 行政区や河川管理者である福島県と協議、話し合いをするともに、この問題を解決できるように努力していきたい。

### 問 埋設された送電ケーブルの管理は

**答** 実施事業者が管理

**問** 太陽光発電事業の工事で町内では、埋設ケーブルは延べ何キロメートルぐらい設置されるのか。

**整備課長** 道路占用許可を出している延長は、約8キロメートル弱である。

**問** 埋設工事の苦情については、どのようにしているのか。

**整備課長** その都度、施工業者に連絡をして指導している。

**問** 今回の事業者については、どの程度、町で把握しているのか。  
**整備課長** 外資系であるということとは認識している。



佐藤 喜一

### 問 小・中学校入学祝いの補助を問う 答 入学祝金の支給は考えていない

**問** 小・中学校入学時の経費について、保護者の負担は大変な状況である。

令和5年度の小・中学校の入学人数は、また、入学祝い金として一人あたり5万円を支給してはどうか。

**教育長** 小学校は92名、中学校は143名を見込んでおり、入学祝い金の支給は考えていない。

**問** 一色地区から浅川小・中学校に区域外通学をしている令和4年度の児童・生徒は学年毎に何名いるのか。

**教育長** 区域外通学をしている児童・生徒は、小学校は2年生1名、5年生1名の合計2名であり、中学校は1年生1名、2年生1名の合計2名である。

**問** 浅川小・中学校へ区域外通学をしている児童・生徒が、浅川町から入学祝い金3万円を頂いており、令和5年度も小学校で1名

頂ける予定である。このことについてどう思うか。  
**子ども教育課長** 浅川町での子育て支援の考えであるところから考えている。

### 問 都市公園の整備は

**答** 遊具等の更新を検討していく

**問** 現在ある都市公園は、整備して年数が経過し、遊具が古く数も少ない。

町の都市公園の数及び遊具の状況は。

**町長** 都市公園の数は、18カ所で遊具を設置している公園は9カ所である。

**問** 子ども達がたくさん集まり、楽しく遊べる遊具を増やす考えはあるのか。

**町長** 新たに遊具を設置する計画はないが、毎年実施している保守点検の結果により、修繕や撤去



水白田にある児童公園

及び更新などを検討していく。

**問** 現在ある遊具等を更新しても、子ども達が多く集まり楽しく遊ぶかと考えると疑問である。

白河市の鶴子山公園や関の森公園のような規模の公園を整備してはどうか。  
**整備課長** 現在、計画はないが、都市公園のあり方も含め、調査研究していく。

### 問 野球場の建設は

**答** 野球場のみの整備は考えていない

**問** 町内4カ所の運動広場は、個々に問題があり野球場には適していない。白河市東にある「東風の台運動広場」のように多種目の競技ができる運動広場を建設してはどうか。

**町長** スポーツ振興を図る意味で、どのような整備が必要かということは認識している。



野球大会には狭い運動広場



近藤 正光

### 問 棚倉城跡整備基本計画策定のメリットは 答 国の補助金を活用できる

**問** 補助事業に対する助成割合は。

**生涯学習課長** 通常50%の補助率で、災害復旧等の場合には、70%となる。

**問** 追手門、隅櫓等の復元構想計画は。

**教育長** 国で定める一定の基準があり、精度の高い内容が求められるため、現時点では条件が整っておらず復元の計画は立てていない。

**問** 計画書案の中では、追手門の復元的整備を検討するところがある。

**生涯学習課長** 復元は、枳形虎口である。すべて復元する場合は正確な資料が必要であるため、現時点では、復元的整備を目指し、中長期的に調査を進めていく。

**問** 復元のための平面、立体図等の発見のための調査は。

**生涯学習課長** 復元のため根拠となる資料を十分検討を重ね今後調査していく。

**問** 石垣の保存修理計画は。  
**教育長** 災害復旧事業として採択されたので、今後約5年間で修復を行う予定である。

### 問 老朽水道管、石綿管の更新事業計画は 答 町水道事業統合基本計画等に基づき取り組んでいる

**問** 具体的な更新計画は。  
**町長** 毎年実施計画において検討し、使用年数や管路の重要性など優先順位や他の工事との調整を考慮し、3力年の年次計画を策定している。



水道管布設替工事の現場

**問** 年間漏水量と損失額及び漏水箇所の調査は。  
**町長** 年間漏水量は令和3年度

### 問 ヤングケアラーの県の実態調査の結果は 答 ヤングケアラーと回答したのは6名である

**問** 町も実態調査をしたのか。  
**町長** 町独自の実態調査は行っ

が約34万立方メートルであり、損失額は約2,400万円、漏水調査は民間調査会社に委託し、町内15カ所で流量測定や路面音聴調査を実施している。

ていないが、県の調査は小学校5年生から高校3年生の全ての児童生徒を対象とした。本町の対象者884名で、「家庭の世話をしている」は7.1%の63名、うち「自分がヤングケアラーである」と回答したのは6名であった。

**問** ヤングケアラーへの支援策は。  
**町長** 小・中学校や公立施設にポスター等設置している。また支援が必要な対象者を把握した場合や相談を受けた場合は、関係機関と連携を図り対応している。

**問** 白河市は昨年ケアラー条例を制定した。本町においても条例を制定し支援に当たってはどうか。さらに東白川郡4町村でラインによる相談窓口を開設してはどうか。  
**町長** 子どもをきちんと守ることは大切であり提案を踏まえて考えていきたい。

### 問 県との交渉が進展しない原因は 答 県が方針を示さないため進まなかった

**問** 県は新年度県立高校改革で空き校舎となる市町村に対し支援策の創設を決めたとの報道があるが、旧棚倉高校跡地への対応は。県との交渉が進展しない原因は何か。  
**町長** 県から無償譲与や補助制度の新設等の情報提供はなかった。今後、県から説明がある予定でその内容により対応を検討したい。



活用が望まれる旧棚倉高校跡地

### 問 LGBTQへの支援は 答 県内外の状況を把握し検討

**問** 近年、LGBTQへの理解推進や支援に取り組む自治体が増えてきているが、当町での考えは。  
**教育長** 一人一人の多様性をより尊重し、住みやすいまちづくりを目指すため、県内外の状況等を把握しながら、理解の推進と支援の内容を検討していく。同性パートナーシップ制度は関係課と協議し検討していく。教育の場で講座

や資料配布は予定していないが、今後、国・県の動向を注視したい。中学校でのジェンダーレスの制服導入は希望する女子生徒のラックス着用が認められた。  
**問** 文科省からの性同一性障害や性的思考、性自認に関わる児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施は。  
**子ども教育課長** 各学校に通知し養護教諭などが研修を行っている。



女子のスラックスが認められた中学校の制服

### 問 保健協力員の見直しは 答 時代に応じた変更は必要

**問** 保健協力員の成り手が少ないと聞けるが、活動の見直しは。  
**町長** 各種健診の受診や保健事業への参加勧奨、健康情報の伝達など協力頂いている。個別配布等は、平成30年度から行っていない。会議や研修会への参加は可能な範囲でお願いしている。

**問** 協力員の人数と活動内容、参加率は。  
**健康福祉課長** 全部で80名に委嘱。会議は初回と最後の研修会で、約5、6割が出席。研修会の出席は3割から4割。町の講演会等への参加は2割くらい。

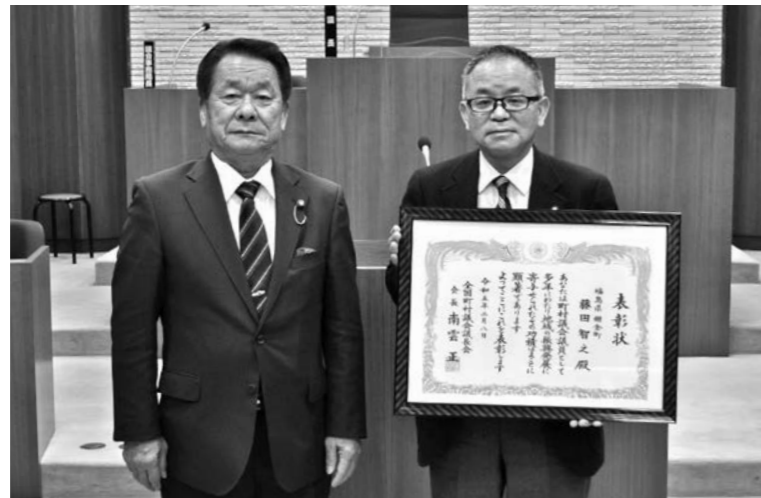
**問** 制度や活動の見直しは。  
**町長** 時代に応じた変更は必要と思っている。

### 問 物価高騰の中で給食費は 答 値上げをする予定は無い



## 全国町村議会議長会表彰

去る、令和5年2月8日、全国町村議会議長会定期総会において、議員として15年以上在職し、功労のあった方が全国町村議会議長会会長より表彰されましたので、今定例会3月会議において、議長より表彰伝達式が行われました。



受賞者 藤田 智之 議員



受賞者 佐川 裕一 議員

### ● 定例会・その他会議

会 議	開 会	閉 会	会議日数	傍聴者数	一般質問	
					登壇人数	質問件数
1月第1回会議	1月13日	1月13日	1	2		
定例会3月会議	3月9日	3月17日	9	15	6	18
定例会6月会議	6月8日	6月10日	3	28	8	24
定例会9月会議	9月13日	9月16日	4	25	4	13
9月第1回会議	9月30日	9月30日	1	4		
10月第1回会議	10月18日	10月18日	1	4		
11月第1回会議	11月8日	11月8日	1	4		
定例会12月会議	12月14日	12月16日	3	25	6	19
合 計			23	107	24	74

### ● 提出議案数

種 類		件 数
町長提出	条 例	19
	予 算	31
	決 算	9
	専 決 処 分	6
	そ の 他	13
	合 計	78
議員提出	意 見 書	2
	規 則 / そ の 他	3
	合 計	5



議会運営委員会の様子

### ● 委員会・研修会開催状況

区 分	委 員 会	開催日数
常任委員会	総務常任委員会	3
	厚生文教常任委員会	3
	建設経済常任委員会	5
	広報編集常任委員会	13
	議会運営委員会	5
	予算・決算特別委員会	3
	下志宝堰災害復旧工事調査特別委員会	3
	議会全員協議会	8



### 令和4年に参加した主な研修会等

5/9	福島県町村議会議長・副議長研修会	10/20~21	議会運営委員会他市町村行政調査
6/9	福島県町村議会議長会定期総会	10/25	教育予算に関する陳情
7/6~8	常任委員会他市町村行政調査	11/9	町村議会議長全国大会
10/24	福島県町村議会議員研修会		

議会の活動状況を報告します  
(令和4年1月1日~令和4年12月31日)

# 言わせて一言

## 人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

### 住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。



私は、町文化財保護審議委員や町観光協会山本支部等にお声がけいただき、歴史や観光に携わらせていただいております。

山本地区におきましては、令和2年度から4年度にかけて山本キャンプ場のリニューアル工事が行われ、水洗トイレ、炊事棟、シャワー室、バンガロー棟の工事が行われ、令和5年3月に完了し、大変使いやすくなりましたので是非、町民の皆様にもご利用いただければと思います。

また、最近ではテレビや雑誌等で棚倉町が「東北の小京都棚倉」で紹介されることも多くなってきました。棚倉城跡をはじめ、歴史ある史跡、神社仏閣が多数あり、地場産品も充実し、自然も豊かな棚倉町に観光客を県内外から誘客し、ますます棚倉町に来てよかつたと思われ、魅力ある棚倉町となるように、今後協力をしてまいりたいと思います。

北山本にお住まいの  
金坂 明道さん



下山本にお住まいの  
菊地 司和さん



私は、役場入口のミニチュア狒犬を3Dプリンタで作ったのですが、今では原料高騰で製造が困難になっています。海外物価は日本の倍に上昇、日本の賃金は途上国並みの経済になりつつあり、棚倉町でも独自の政策が必要だと思います。

令和4年棚倉町議会の一般質問は74件、内公共工事関連24件、教育関連12件などで、それらも重要な案件ですが、「コロナ不況と物価上昇に希望が持てる政策を町に望みます。

①賃金倍増。町で働く正社員の平均年収は343万円、人口の3割が300万円未満です。マック指数から倍近くの賃金が必要です。

②女性や高齢者の活用。人口減少と働き手不足から人材確保は困難。女性や高齢者の社会進出を後押しする議論。

③産業DX推進。最新設備とITを導入し、少人数で粗利を上げる先端設備等導入制度の議論。

以上、よい良き町になるよう要望いたします。

## あなたも議会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。



### 定例会6月会議日程のお知らせ (予定)

正式日程は、6月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。



6月14日(水) 開会・本会議

15日(木) 一般質問

16日(金) 一般質問

## 編集後記

定例会3月会議において、令和5年度予算が可決されました。

4月より各種事業がスタートし、新型コロナウイルス感染症対策の規制が緩和され、明るい兆しが見えつつあります。通常の日常生活やイベントの開催など、地域と経済が活性化されることを期待しています。

また、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、ロシアによるウクライナ侵攻の平和的解決を引き続き望みます。

広報編集常任委員会  
副委員長 蛭田 卓雄

### 広報編集常任委員会

- 委員長 菊池 忠二
- 副委員長 蛭田 卓雄
- 委員 佐川 裕一
- 委員 大竹 盛栄
- 委員 和知 良則